



祝 辞

サクラ前線もだいふ北上してきました。今日はちょっと肌寒い日となりましたが、間もなく新潟も開花の日を迎えます。新潟青陵大学短期大学部にご入学の皆さん、皆さんはもう満開です。ご入学、おめでとうございます。今日からは青陵のキャンパスで思い切り学び、クラブ活動でも存分に力を発揮するなど、キャンパスライフを謳歌いただけます。

そして、これまで深い愛情を注いでお育てになられたご家族の皆さま方、誠にありがとうございます。心からお喜び申し上げます。

私たち青陵学園の教職員も新年度を心待ちにしていました。それは、「ポスト・コロナ時代」に向けて培った青陵での新しい学びを、皆さんと共に構築したいと思っているからです。その一つは、コロナ禍で大きく前進したオンライン教育を伸ばしつつ、リアルな体験や多様な経験を持つ人材との出会いを大切にする「ハイブリッド教育」の実践です。「青陵プロミス」で謳う、「自分だけの専門性を『活かす力』と、変わりゆく社会を『生きる力』」を身に付けてください。

また、青陵は地域との関係を大切にし、様々な社会課題を地域の方たちと共に解決を目指す「ソーシャルイノベーションのスクエア＝広場」を目指しています。

例えば、こんな取り組みはどうでしょうか。青陵学園はもうお分かりのように、日本海を望む松林に位置していて、「日本一海に近い学園」だそうです。この特徴を活かし、青陵が立地する西海岸の松林、浜辺の環境を地域の方や民間団体・自治体と連携して改善する取り組みに着手しました。学園近くの松林を「青陵の森」として整備し、多くの人が訪れ、楽しめる、快適なゾーンにしていきます。また、青陵学園からほど近い新潟島の下町、新潟では「しもまち」と呼びますが、ここは湊町・新潟の原点というべき地域なのですが、今は新潟市で最も高齢化が進んだ地域になっています。ここを舞台として地域の困りごとなどを把握し、その課題解決に青陵学園がお役に立てるようになれば、地域から「青陵があって良かった！」と言ってもらえるようになるでしょう。

青陵では今年、おそらく6月になると思いますが、その司令塔であり総合窓口となる「青陵ソーシャルイノベーション推進機構」を学園内に開設します。これま

でのボランティアセンターなどと共に、地域課題の解決に汗を流していきますから、皆さん也大いに地域に関わってほしいと思います。

そんな体験は、人間総合や幼児教育学科で学ぶ皆さんにとって貴重な財産になるでしょう。私たち教職員は「青陵プロミス」の実現・推進に全力を挙げることをお誓い申し上げて、入学のお祝いの言葉といたします。これからよろしく願ひします。

2025 年 4 月 2 日

新潟青陵学園

理事長 篠田 昭